

# 基礎英語における難解点

～学力テストからの一考察～

西野貴子

## I. はじめに

本校では1年入学時、英語の参考書として美誠社の高梨健吉著「基礎からの英語」をここ数年生徒に推薦してきた。授業中に持ってきて、新出の文法事項の説明にはその箇所を参考に読むようにしているが、それだけでは全体を網羅出来ないので、夏休み中の課題として、この中から数章を選んで出している。そしてその成果を問う形で、夏休みあけの学力テストの範囲にいられている。

本稿はその成績の良し悪しについてではなく、中学過程での週3時間の英語学習と、高校に入ってから大学入試までに要求される水準とのギャップをなんとか早急に埋める方策を求めて、学年が進むにつれてどう進歩し、また問題点はどういうことであるかを追跡調査してみたものである。

## II. 「基礎からの英語」の構成

中学英語と高校英語をつなぐパイプとして利用する参考書としては大変定評があり、事実、例えば、仮定法現在の説明も高校1年生にはあまり混乱がなく理解しやすく書かれているので、よく読んで理解出来れば、相当英語力がつくと考えられる参考書である。この参考書は全部で25章から成り立っている。課題やテストの出題との関係をよく見れるように全体の構成を掲げてみる。

Table 1

基礎からの英語

章	内 容	問題番号	章	内 容	問題番号
1	文		14	助動詞	51～60
2	句と節		15	態	61～70
3	名詞		16	不定詞	71～80
4	代名詞		17	分詞	81～90
5	冠詞		18	動名詞	91～100
6	形容詞		19	前置詞	
7	副詞		20	接続詞	101～110
8	比較		21	話法	111～120
9	疑問詞	1～10	22	仮定法	
10	関係詞	11～20	23	呼応	
11	動詞と基本時制	21～30	24	特殊構文	
12	完了時制	31～40	25	発音と単語	
13	進行形	41～50			

第1章から第8章までは比較的基本と考えられるので自学自習とし、第9章から第21章までの12章(うち第19章は省略)を夏休み中の課題と決め、第22章以下は別の機会とすることにした。

夏休みあけの学力テストでは上述の12章の中から、1章につき10題(例文・研究問題・練習問題から8題、応用問題2題)小計120題と、各章からだす発音・単語問題18題との合計138題をすべて客観問題の形式をとって出題した。(P70～P76の問題の資料を参照)

### III. 全体的考察

4年分の資料のうち、A回生は誤答率（50%以上）の高かったもののみ、B回生はQ41～80についての誤答率、C、D回生は全問の誤答率という具合で、資料として比較して考えるには不十分かもしれない。しかし、A回生の誤答率の高い問題は、B、C、D回生にも共通して高いということが数字から読み取れるので、対象としてもよいと判断した。（Table 2を参照）

Table 2

#### 基礎からの英語

注：数字は%で示してある。

番号	A	B	C	D	番号	A	B	C	D	番号	A	B	C	D
1			4	6	47		43	51	39	93			31	39
2			5	16	48		27	13	18	94			23	22
3			0	1	49		21	19	27	95	55		50	38
4			36	31	50		27	28	33	96	60		48	69
5			1	0	51	50	75	68	69	97			22	26
6			0	0	52	52	47	59	53	98	76		83	73
7			2	3	53		22	36	37	99	91		87	90
8			0	4	54		0	0	2	100	51		48	55
9			0	1	55		44	44	64	101			7	1
10			8	13	56		43	37	47	102			7	1
11			11	7	57		30	34	37	103			12	13
12	78		74	63	58		52	48	45	104			34	29
13			34	20	59		21	10	15	105			10	3
14			15	5	60		24	28	22	106			11	33
15			36	28	61		89	36	31	107	58		57	59
16			9	14	62		10	18	23	108			39	44
17			30	18	63	71	68	75	74	109			24	18
18			35	28	64		36	43	44	110			62	40
19			14	15	65		15	21	27	111	76		86	86
20			44	39	66		23	28	34	112			64	64
21			13	15	67		13	16	12	113			13	15
22			27	39	68		31	31	35	114			44	15
23			14	15	69	66	71	63	65	115	51		47	50
24			20	24	70		15	13	14	116			7	10
25			63	68	71		18	46	34	117			10	7
26			26	22	72	59	78	81	77	118			34	25
27	52		67	60	73		38	29	42	119			15	10
28	52		66	54	74		69	63	63	120			16	10
29			13	14	75		57	50	48	121		37	40	26
30			21	21	76	52	41	57	63	122	59	70	53	39
31	51		62	51	77		18	28	31	123		21	31	26
32			31	39	78		18	34	28	124		39	47	36
33			6	7	79	72	55	65	73	125		39	39	38
34			24	34	80	62	73	74	70	126	79	46	78	44
35			19	23	81			36	37	127			11	34
36			10	17	82			17	14	128			28	33
37			2	2	83			62	55	129			55	67
38			17	15	84			49	48	130	74		73	78
39			20	23	85	71		82	65	131	50		48	31
40			23	21	86			12	28	132			36	23
41		28	15	31	87			48	26	133	83		90	70
42		31	32	25	88			52	58	134			4	2
43		52	47	52	89			59	56	135			3	7
44		34	57	34	90			11	14	136			15	31
45		28	17	31	91			28	28	137	58		42	42
46		31	57	34	92	57		42	54	138			10	22

(注) A回生の解答者は134人、B、C、D回生の解答者は各々138人である。

そこでわかりやすくするために、138題の問題を次のように3つに分けてみた。

- (1) 誤答率が20%以下のもの……………42題
- (2) 誤答率が21～47%のもの……………58題
- (3) 誤答率が48%以上のもの……………38題

本当に難解だったと思える問題が38題で全体の27.5%であるから、このテストは概して標準的なものと考えてよい。また、47%とか、48%とかいう数字は、Vの項で述べるC回生の追跡調査の時に、66人以上の誤答人数から47.8%という百分率が出てくるのにあわせて、ここでも使用したものである。ただ、各回生によって数値が多少異なっているので、その平均値で問題を振り分けた。

Table 3 誤答率による分類

	(1) 誤答率 20%以下	(2) 誤答率 21～47%	(3) 誤答率 48%以上
問 題 番 号	1, 2, 3, 5, 6, 7, 8, 9, 10	4	
	11, 14, 16, 19	13, 15, 17, 18, 20	<u>12</u>
	21, 23, 29	22, 24, 26, 30	<u>25, 27, 28</u>
	33, 36, 37, 38	32, 34, 35, 39, 40	<u>31</u>
	48	41, 42, <u>43, 44, 45, 46, 47</u> , 49, 50	
	54, 59	53, 56, 57, 60	<u>51, 52, 55, 58</u>
	62, 65, 67, 70	61, 64, 66, 68	<u>63, 69</u>
		71, 73, 77, 78	<u>72, 74, 75, 76, 79, 80</u>
	82, 86, 90	81, <u>87</u>	<u>83, 84, 85, 88, 89</u>
		91, 93, 94, 97	<u>92, 95, 96, 98, 99, 100</u>
	101, 102, 103, 105	104, 106, 108, 109	<u>107, 110</u>
	113, 116, 117, 119, 120	114, 118	<u>111, 112, 115</u>
		121, 123, 124, 125, 127, 128	<u>122, 126, 129, 130</u>
	134, 135, 138	<u>131, 132, 136, 137</u>	<u>133</u>
計	42	58	38

(注：下線を施したものはC回生の47.8%以上のもの)

(1) 誤答率が20%以下の問題を検討してみよう。

番号の若い問題の内容には中学での学習事項が多く含まれているので、相対的にいってよく理解されている。しかし、Q14の人と動物を先行詞とする関係代名詞、Q16の「前置詞＋関係代名詞」、Q19の複合関係代名詞は新出事項であるから、これらが出来ていたのは夏休み中の勉強の成果と考えてよいだろう。Q29は副詞節中の時制問題であるが、これもよく出来ていた。英作文では、混同して間違えてしまうこともあるので、注意しなければならない問題である。

Q54、Q70も中学での学習事項そのものだったので間違いは少なかったが、Q41～80は問題をひねってあるせいか、20%以下のものはわずか7問だけだった。

Q101の「命令文＋and」は中学での学習事項、しかしQ102の「命令文＋or」は高校で習う事項だがよく出来ており、これは中学での知識と高校での知識が関連づけやすいものだったので、理解するのも容易であったと考えてよいだろう。Q113以下の話法の問題については1年1学期に間接話法の形で出ているが、間接話法から直接話法へ、あるいはその逆の形

では出ていない。しかし前後関係から予想がつくのかよく理解されていたと思う。

(2) 21%~47%の誤答率のものについて考えてみよう。

Q4は“do you think”または“do you know”と疑問詞の組み合わせを問うたもので、今答えられていても、要求していることが何であるかをよく理解しておかないと時間がたつと混同してしまうものである。35%の者が間違えている。Q56とQ97は重複しているが、意外なことに“cannot help~ing”は理解していても“cannot but 動詞の原形”が結びついていない。だから、章がかわり、問題の出され方が違うと弱点となってあらわれるようだ。やはり関連を持たせた指導が望ましいことを物語っている。後出のQ3とQ44についても同じことがいえる。

(3) 誤答率が48%以上の問題を考えてみよう。

まず第一にここにあがってきた問題は不思議と各回生に共通である。さらに後のVの項でとりあげるC回生の誤答率の高い問題も殆どこの中に含まれている。どの学年によらず理解不十分なところは主にまだ習っていない事項が多いと思われるが、「基礎からの英語」をよく読みこんでいれば、当然できてよいと思われる事柄もたくさん含まれている。例えば、Q27、Q28では動詞の変化及び自動詞か他動詞かをきちんと把握していれば、簡単に正解が選べるものである。確かに‘hang’は中学の教科書、例えば Sunshine 3 (開隆堂出版) や The New Crown English Series (三省堂) を見ても出てはいない。しかし中学で覚えてきているはずの基本動詞 (ex. ‘keep’, ‘leave’) を含めて、動詞の変化形そのものがきちんと把握されていないこと (‘keeped’, ‘leaved’ という具合に言うか書く) が、時々、授業やテストの中で少数ながら発見され、がく然とすることをこれまでに何度か経験している。もう一度問いただすと、はっと気がついて正しく答えられるのだが、その生徒への定着をはかるためにも反復練習することを心がけている。

#### IV. 各回生の特色比較 (Table 4を参照)

Vの項でC回生の追跡テストの経過を追うので、Table 4はC回生の誤答率の高いものから順に作成してある。まずグラフから単純に言えることは、

(1) 棒グラフが減少して正解が高くなっていく様子は多少の凸凹はあるものの極端な違いはない。つまり、誤答率が逆転してあとになるほど大きく高くなっていることはない。どの回生も大まかな所は殆ど同じ状態である。

(2) A回生、D回生は英語Iの教科書が同じ (The Crown English Series I, 三省堂を使用) だったのだが、誤答率の高い方の棒グラフが非常に類似した図を示しているのが面白い。1学期中に履修した事柄が大いに影響があったといえるかもしれない。

A回生、D回生が1学期中に習った事柄は、不定詞の3用法、SVOの文型で不定詞だけ・動名詞だけ・それぞれ両方を目的語としている動詞、関係代名詞(who, which, what)、関係副詞(when, where, how, why)、比較表現、分詞(現在分詞、過去分詞)、間接疑問文、現在完了進行形、感覚動詞、過去完了、使役動詞(make, have, let)、「will + 受動態」、「It is 形容詞 that 節」、「keep」・‘make’のSVOC型の用法などが主なものである。

出来なかった問題と照合してみると、上の事項以外のものが多かった。ただ、Q98の‘deny’のあとに動名詞がくること、Q80の感覚動詞の文型、Q52の‘should’、使役の‘have’、Q44の現在完了進行形などはいずれも習ったものであるから、もう少し誤答率が低くてもよかったのではないかと思われる。しかしQ2の間接疑問文、Q37の‘finish~ing’、Q36の過去完了、Q11の関係副詞、Q70の「will + 受動態」などはさすがによく出来ていた。や

# 問題難易度順

Table 4-(1)

注：グラフの目盛りは一目盛り「5」、×は端数を切り上げて示してある。

番号	A	B	C	D	A	.....+......+	B	.....+......	C	.....+......+	D	.....+......+
133	83		90	70		XXXXXXXXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
99	91		87	90		XXXXXXXXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
111	76		86	86		XXXXXXXXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
98	76		83	73		XXXXXXXXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
85	71		82	65		XXXXXXXXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
72	59	78	81	77		XXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
126	79	46	78	44		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXX	
63	71	68	75	74		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
12	78		74	63		XXXXXXXXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
80	62	73	74	70		XXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
130	74		73	78		XXXXXXXXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
51	50	75	68	69		XXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
27	52		67	60		XXXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
28	52		66	54		XXXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXX	
79	72	55	65	73		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
112			64	64					XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
25			63	68					XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
69	66	71	63	65		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
74		69	63	63			XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
31	51		62	51		XXXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXX	
83			62	55					XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
110			62	40					XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXX	
52	52	47	59	53		XXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXX	
89			59	56					XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
44		34	57	34			XXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXX	
46		31	57	34			XXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXX	
76	52	41	57	63		XXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
107	58		57	59		XXXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
129			55	67					XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
122	59	70	53	39		XXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXX	
88			52	58					XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
47		43	51	39			XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXX	
75		57	50	48			XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
95	55		50	38		XXXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXX	
84			49	48					XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXX	
58		52	48	45			XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
87			48	26					XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXX	
96	60		48	69		XXXXXXXXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
100	51		48	55		XXXXXXXXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
131	50		48	31		XXXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXX	
43		52	47	52			XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
115	51		47	50		XXXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
124		39	47	36			XXXXXXX		XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXX	
71		18	46	34			XXXXX		XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXX	
20			44	39					XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXX	
55		44	44	64			XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXXXXXXXX	

注：数字は%で示してある。

Table 4-(2)

番号	A	B	C	D	A	.....+......+	B	.....+......	C	.....+......+	D	.....+......+
114			44	15					XXXXXXXXXX		XXXX	
64		36	43	44				XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXXXXXX	
92	57		42	54	XXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXX	
137	58		42	42	XXXXXXXXXXXX			XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXXXXXX	
121		37	40	26			XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXX	
108			39	44				XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXXXXXX	
125		39	39	38			XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXXXXXX	
56		43	37	47			XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXXXXXXXX	
4			36	31				XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXXXXXX	
15			36	28				XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXX	
53		22	36	37			XXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXXXXXX	
61		89	36	31			XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXX	
81			36	37				XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXXXXXX	
132			36	23				XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXX	
18			35	28				XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXX	
13			34	20				XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXX	
57		30	34	37			XXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXXXXXX	
78		18	34	28			XXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXX	
104			34	29				XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXX	
118			34	25				XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXX	
42		31	32	25			XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXX	
32			31	39				XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXXXXXX	
68		31	31	35			XXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXXXXXX	
93			31	39				XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXXXXXX	
123		21	31	26			XXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXXXX	
17			30	18				XXXXXX	XXXXXXXXXX		XXXX	
73		38	29	42			XXXXXXXXXX	XXXXXX	XXXXXX		XXXXXXXXXX	
50		27	28	33			XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX		XXXXXXXXXX	
60		24	28	22			XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX		XXXXXX	
66		23	28	34			XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX		XXXXXXXXXX	
77		18	28	31			XXXX	XXXXXX	XXXXXX		XXXXXXXXXX	
91			28	28				XXXXXX	XXXXXX		XXXXXX	
128			28	33				XXXXXX	XXXXXX		XXXXXXXXXX	
22			27	39				XXXXXX	XXXXXX		XXXXXXXXXX	
26			26	22				XXXXXX	XXXXXX		XXXXXX	
34			24	34				XXXX	XXXXXX		XXXXXXXXXX	
109			24	18				XXXX	XXXX		XXXX	
40			23	21				XXXX	XXXX		XXXX	
94			23	22				XXXX	XXXX		XXXX	
97			22	26				XXXX	XXXX		XXXXXX	
30			21	21				XXXX	XXXX		XXXX	
65		15	21	27			xxx	XXXX	XXXX		XXXXXX	
24			20	24				XXXX	XXXX		XXXX	
39			20	23				XXXX	XXXX		XXXX	
35			19	23				XXXX	XXXX		XXXX	
49		21	19	27			XXXXXX	XXXX	XXXX		XXXXXX	

Table 4 -(3)

番号	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
62		10	18	23		xx										
38			17	15												
45		28	17	31		xxxxxx										
82			17	14												
67		13	16	12		xxx										
120			16	10												
14			15	5												
41		28	15	31		xxxxxx										
119			15	10												
136			15	31												
19			14	15												
23			14	15												
21			13	15												
29			13	14												
48		27	13	18		xxxxxx										
70		15	13	14		xxx										
113			13	15												
86			12	28												
103			12	13												
11			11	7												
90			11	14												
106			11	33												
127			11	34												
36			10	17												
59		21	10	15		xxxxxx										
105			10	3												
117			10	7												
138			10	22												
16			9	14												
10			8	13												
101			7	1												
102			7	1												
116			7	10												
33			6	7												
2			5	16												
1			4	6												
134			4	2												
135			3	7												
7			2	3												
37			2	2												
5			1	0												
3			0	1												
6			0	0												
8			0	4												
9			0	1												
54		0	0	2												

やはり生徒の理解にとっては授業との関連は絶対的なものであるといえる。

(3) C回生、D回生について

C回生はA、D回生とは異なる教科書（Unicorn English Course I、文英堂）を使用した。C回生が1学期に履修した主なものは、5文型、名詞の数、基本時制、不定詞の3用法、‘There is...’、‘It is~+不定詞’、S+V+O（=動名詞）、現在（または過去）進行形、受動態、S+V+O+不定詞、動名詞、分詞、S+V+O（=疑問詞+to do）、関係代名詞、関係副詞（where）、現在完了、過去完了、‘Let’s...’などである。こうしてみると、このC回生は中学の復習を充分丁寧にやり、次の段階へ進んでいるようで、前のA、D回生が1学期履修したこととはかなりの違いがあるといえる。しかし、どうい場合も基礎工事がしっかり出来ていないものは先へいっても伸びがないし、安定しないので、これはこれでよかったと思う。

次に問題比較で気がついたことを述べてみよう。

(ア) Q126、Q46、Q44、Q114の各問はC回生がD回生より2倍弱の誤答数である。これはD回生は1年1学期で現在完了進行形を習っているが、C回生は習っていないことが強く反映している。

(イ) 逆にQ129、Q96、Q55の各問では、D回生がC回生より1.5倍の誤答数である。これらは両回生とも1年2学期以降の学習事項であり、これだけの差が生じている理由についてはなんともいえない。

(ウ) 誤答率の中間あたりは両回生ともそんなに変わらないが、誤答率が小さくなってきたあたりで、D回生がC回生の2~3倍多く間違っている問題があるのが気にかかる。例えば、Q127の「いかり」という単語のスペリングは、C回生には主に「アンカー英和辞典」（学習研究社）を、D回生には主に「グローバル英和辞典」（三省堂）を持たせたことが身近なところでの影響となってあらわれたと思われるのが面白い。Q106はQ92と同様、諺であるが、C回生には1年1学期末に諺をテストしたことがあり、それが反映したと考えられる。

(4) 各回生で棒グラフの凸凹がはげしく差のある問題を拾ってみよう。

(ア) Q72の完了不定詞はA回生のみよくて、B、C、D回生はすべて80%前後の誤りである。これは1年生のこの段階では理解がなかなか困難であるという問題を提供してくれている。

(イ) 逆にQ95ではD回生が1番少なく、あとA、C回生は50~55%の誤りを出しているが、‘escape’の目的語が受け身の動名詞か不定詞か迷った為であろう。

(ウ) Q126は(3)の(ア)と重複するが、これもA、C回生が80%弱、B、D回生が45%前後と、教科書の同異だけではすまされない問題がありそうだ。カタカナ英語の「ニュース」と‘news’、‘loose’と‘lose’、そして‘result’の読み方が響いているのだろう。

## V. C回生についての追跡テストの結果

B回生の資料は全部揃っていないので、ここでは省略することにして、C回生について考察する。

(1) C回生の追跡データは138問中、誤答人数が66人(=47.8%)以上のものについてのみ行っている。66人という数字は、A回生は解答者数134人で、その半数67人より誤答数を調べてあったので、それより1人下からという意味で決めたものである。1年9月の段階で誤答数66人以上の問題は42題あった。回を追う毎に66人以下のものは切り捨て、結局のところ、13



題残った。(Table 5, 6を参照)又、追跡テストは2年、3年の1学期の中間、期末考査にだまっていれているが、数字を見逃して追跡出来なかった問題(Q85, Q133)もあるので、ここで断っておく。

又、生徒に聞いてみると、2年5月の時点では、「アレ!どこかで見たような問題だな!」という程度の印象で、1年9月の学力テストからのものだったと気がついたのは、ほんの1人か2人だった。勿論その生徒は1年夏休みに「基礎からの英語」をしっかりと勉強し、授業中新しい事項を説明していると、ページをパラパラとめくり、該当箇所を出す程の力を持っている生徒であったし、この問題に関する限りでは、毎回殆ど満点だった。

さて、1年9月の時点と2年5月の時点を比較してみよう。Table 5では都合上、1年9月を1-9、2年5月を2-5、2年7月を2-7、3年5月を3-5、3年7月を3-7というようにあらわしている。2年5月のテストの結果を数字でたどってみると、次の4つに分けられる。

- (ア) 1年9月の時より誤答率が高くなったもの  
Q12, 27, 31, 43, 51, 88, 89, 95, 107, 112, 115
- (イ) 1年9月より誤答率が約半分またはそれ以下になったもの  
Q69, 96, 110, 126
- (ウ) 1年9月より誤答率は減ったがまだ47.8%を切らないもの  
Q25, 28, 52, 63, 72, 74, 79, 80, 83, 98, 99, Q100, 111, 130
- (エ) 1年9月より誤答率は減って47.8%を切ったもの  
Q44, 46, 47, 58, 75, 76, 84, 87, 122, 129, 131

まず、先に述べたことと重なるかもしれないが、それぞれの問題のポイントと学習の時期について述べてみよう。ポイントが教科書に見当たらない場合はXとする。

- (ア) について
- Q12: 「関係代名詞 + S' + V' + (S) + V」という形式..... X  
S' + V'は挿入句だから括弧に入れて考えると、関係代名詞の格にはなんの影響もあたえないので、主格の'who'を選ばなければならないが、関係代名詞の次にくる語は何かのように形式的に覚えていると、目的格'whom'を選んでしまうという間違いが多かった。
- Q27: hang (つるす) - hang - hung }  
hang (絞殺する) - hanged - hanged }  
の区別..... X

Table 5  
C回生の追跡データ(1)  
(問題番号順に並べたもの)

NO.	1-9	2-5	2-7	3-5	3-7
12	74	78	52	44	23
25	63	56	46		
27	67	71	56	58	26
28	66	64	42		
31	62	73	69	63	45
43	47	54	65	57	36
44	57	47			
46	57	43			
47	51	39			
51	68	72	11		
52	59	56	57	21	9
58	48	44			
63	75	66	45		
69	63	34			
72	81	69	63	42	37
74	63	49	43		
75	50	39			
76	57	31			
79	65	52	37		
80	74	63	46		
83	62	59	46		
84	49	40			
85	82				
87	48	47			
88	52	63	60	63	49
89	59	65	50	6	6
95	50	68	44		
96	48	11			
98	83	78	70	65	50
99	87	75	50	73	42
100	48	48	42		
107	57	63	59	65	47
110	62	19			
111	86	78	65	52	42
112	64	66	31		
115	47	57	30		
122	53	42			
126	78	44			
129	55	37			
130	73	71	63	61	34
131	48	42			

注: 数字は%で示してある。

- Q31：現在完了形と共に使えない‘just now’…………… X
- Q43：未来進行形…………… 2年2学期  
 ‘one of these days’の意味や未来の計画的行動がわからず、単なる進行形を選んだ者が多い。
- Q51：助動詞+‘have’+過去分詞…………… 2年1学期末  
 この時期まだ習っていない当然の結果。
- Q88：‘set + O～ing’…………… X  
 1年2学期に‘set + O + 形容詞’の形で学習。“He set the world right.”
- Q89：‘make’ + O + 過去分詞…………… 1年3学期
- Q95：‘escape’ being 過去分詞…………… X  
 ‘escape’という語は2年1学期 exercise (Unicorn II, P.45) にあり、語の意味は知っている。
- Q107：主節に否定文が含まれる時の‘because’…………… X  
 「～だからといって」という意味を、よく知っている「～だから」とか「～というわけで」という意味で解釈してみてもこの文はさっぱりわからないだろう。
- Q112：話法(‘please’のある命令文を間接話法になおす時の伝達動詞)…………… 1年1学期  
 単なる命令文を含む話法は1年1学期(Unicorn I, P.34)に出ていて、exercise (P.36)に“She asked her father to buy her a French doll. → She said to her father, ‘Please……………’”の形で与えられていたが、誰もこの問題に気がつかなかった。
- Q115：話法(間投詞の始末の仕方)…………… X  
 こうしてみると、1年9月より8箇月経過し、学校でも家でもこれらの事項にふれていなければ、当然あらわれる結果かもしれない。答案返しの時に詳しく説明するが、実際に授業中に出てきてさらに定着をはかるようにしなければならない。
- (イ) について
- Q69：‘be killed’か‘die’を使うか…………… 1年2学期  
 ‘die of’～, ‘die from～’の時に戦死や事故死について一緒に説明。
- Q96：‘worth～ing’…………… 2年5月  
 テスト直前にこの表現が教科書に出てきて説明したので、とても効果があった。
- Q110：‘either A or B’…………… 1年3学期  
 これを目的語や前置詞句としての例文が出てきた時に、主語で使われる場合はどうなるかを文例をあげて指導しておいたので、今回効果があった。
- Q126：[s]の音…………… 常時  
 IVの(4)(ウ)でも述べたように1年9月よりは語彙も増えたことと、2年のこの時期で習っていない語は‘loose’のみだが、この語については、普段から派生語を調べる習慣をつけるよう指導しており、‘lose’が出てきた時(‘lose’は中学の必須単語であり、1年2学期に‘lose one’s way’として出てきている)には名詞形‘loose’とその発音をしっかり指導しておいた為、減ったと思われる。
- <sup>1</sup>(ウ) について
- Q25：理由の副詞節に対する主文の時制…………… 常時  
 それほど難しいと思えないが、何故間違ったのか原因不明。

- Q28 : lie (横たわる) - lay - lain }  
 lay (横たえる) - laid - laid } の変化と自動詞と他動詞の区別……………既習  
 cf. lie (嘘をつく) - lied - lied (自動詞 ‘lie’ は中学既習)
- Q52 : 「It + is + 感情・判断を表す語 + that + S + should + have + 過去分詞」… X  
 「It is 形容詞 (名詞) + that 節」の形は1年2学期 (Unicorn I, P.115) で  
 “It was natural [that] George was fascinated.” という文で習っている。  
 しかし ‘should’ が入り、「Sが～するとは…である」の過去形「～したとは  
 ..である」に2段階で変形した為、誤りが多かったと考える。「助動詞+完了形」  
 の習得 (2年6月) 後に期待をかけてみる。
- Q63 : 能動態で受動態の意味をあらわす ‘sell’ …………… X
- Q72 : 完了不定詞…………… 2年3学期  
 授業では習っていないのでまだ減らない。
- Q74 : 「have + 目的語 (人) + 動詞の原形」の構文…………… 1年2学期  
 使役の意味の ‘have’ であるとわかれば容易なのだが、‘make’, ‘let’ など  
 との関連性がない。
- Q79 : 「名詞 (代名詞) + 不定詞 + 前置詞」の形式…………… 2年2学期  
 前置詞 ‘on’ が必要なわけは “He lives on a sufficient income.” と考えると  
 明白であろう。逆に前置詞がないと、名詞 (代名詞) が不定詞の意味上の主語に  
 なる。この場合は ‘a sufficient income’ が ‘to live’ の主語となり、不合理  
 である。
- Q80 : S V O C の文型で C が原形不定詞…………… 1年2学期  
 いわゆる感覚動詞の文型で、動詞の種類として ‘see’, ‘hear’, ‘feel’, ‘look  
 at’ などがこの文型で出てくる都度、「OがCするのをVする」という定型の  
 訳をよく繰り返し指導した。
- Q83 : 分詞構文…………… 1年3学期  
 ここでは、主文の主語が違う為に、別の主語 ‘It’ が残るものだったので、難  
 解だった。
- Q98 : 目的語として動名詞しかとらない動詞…………… 1年1学期  
 しかし ‘deny’ は教科書には出てこないで1年1学期の知識と結びついてい  
 ない。さらに、ここでは内容的には完了動名詞になるので、一段と難しい。
- Q99, Q100 : ‘want’, ‘need’ のあとの動名詞の用法…………… X
- Q130 : ‘contribute’ のアクセントの位置…………… 2年2学期  
 (エ) について
- Q44 : 現在完了進行形…………… 1年2学期  
 この問題を考える時はQ3と比較してみると面白いと思う。一見したところ疑問  
 詞が同じなので、同じような問題だと思って、殆どの生徒が単なる現在完了形を  
 選んでしまったところに大きな落とし穴があり、IVの(3)(ア)でも特色として述べ  
 たところだ。Q3が現在完了形でもよいのは、現在までの状態の継続を表す動詞  
 は「状態」を表すものに限られる場合にあってはまるからであり、Q44が現在完了  
 形では間違っているのは、「動作」を表す動詞が現在までのその動作の継続を表  
 すには現在完了進行形を用いなければならないからだ。この区別がはっきり正確  
 につかめた生徒のふんだけ、誤答が減ったと考えられる。

- Q46：未来の一定時までの継続を表す未来完了進行形…………… 2年3学期  
 Q47：推量の‘must’に対して理由を述べる文中の動作がどうであるかという進行形  
 …………… 1年1学期  
 Q58：従属節中の‘must’が時制の一致を受けるか否か…………… X  
 他の助動詞の場合はその過去形と共に1年1学期に“ They wondered what they  
 could do first.”で習う。  
 Q75：‘get’+目的語(人)+to不定詞…………… X  
 Q76：不定詞の受動態…………… 2年2学期  
 Q84：‘with’+(代)名詞+過去分詞- [付帯状況] …………… 1年2学期  
 付帯状況は1年2学期に“ The birds were set free with rings on their legs.”  
 とか“ A comet travels across the sky with its tail gleaming.”の文例が出た  
 時に、過去分詞の例文(“ She sat there with her eyes closed.”)もそえて指  
 導した。  
 Q87：分詞構文が主文の動詞の表す時制よりも前のことを表す。…………… 1年3学期  
 Q122：‘gear’, ‘pear’の発音…………… X  
 Q129：単語‘develop’…………… 2年2学期  
 Q131：‘invaluable’のアクセントの位置…………… X  
 2年2学期に‘value’という単語が出てきた時に、派生語として‘valuable’,  
 ‘invaluable’を出す。

次に第3回目として、先の(エ)にかかげた47.8%を切ったものをすべてカットして25題にしぼり、2年1学期末テストに出してみた。さて今回は時間的に近かったというせいもあり、2題(Q43, 52)を除いては誤答率が減っている。(Table 6を参照)

Q43の未来進行形はやはりこの文の状況がつかみにくいのか、これまでになく高い誤答率になっている。しかし次の2つの文を比較してみれば、おのずと答は未来進行形の(b)の方を選ばなければならない。

- (a) 私は近日中にもう一度彼女に会っています。  
 (b) 私は近日中にもう一度彼女に会うことになっています。

Q52も入試によく出され、解釈を要求される問題だが、2年1学期末テスト直前に学習している「助動詞+完了形」(ex.“ I should have got up earlier.”)とemotional ‘should’の組み合わせに気づけなかったのか、2回目と同様、全く進歩がなかった。

第4回目は3年1学期中間テストで、13題であった。今回は英語IIの教科書はもう既に終わり、問題集や入試問題を実際に解きはじめ、少しは広い視野で英文を読めるようになっただろうし、何よりも3年生という自覚からか、勉強しだしたせいもあってか、3回目で悪かったQ52は大幅に進歩があって、57%より21%に減った。しかし、Q107のように3回目よりも誤答率が上回ったものもある。Q107は接続詞‘because’が否定語に先行される用法だが、テストの解説だけでは忘れてしまうのも無理はないであろう。それから、最も効果のあったのはQ89であった。これは英語II Aの授業でこの形を何回も練習し徹底をはかったので、今回は6%というめざましい結果を得ることが出来た。この時も正解を詳しく説明した。

第5回目は第4回目をそのままテストした。今回も時期が近かったせいもあり、全問題誤答率は減少し、Q88, 98以外は全部47.8%以下になった。

しかし、ここに1つの大きな問題点が出てきた。それは、ある問題は回を追っても初回の

Table 6 C回生の追跡データ (2) (3年7月の結果を中心にさかのぼったもの)

No.	1-9	2-5	2-7	3-5	3-7	1年9月	2年5月	2年7月	3年5月	3年7月
						.....+	.....+	.....+	.....+	.....+
98	83	78	70	65	50	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX
88	52	63	60	63	49	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX
107	57	63	59	65	47	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX
31	62	73	69	63	45	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX
99	87	75	50	73	42	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX
111	86	78	65	52	42	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX
72	81	69	63	42	37	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX
43	47	54	65	57	36	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX
130	73	71	63	61	34	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX
27	67	71	56	58	26	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX
12	74	78	52	44	23	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXX
52	59	56	57	21	9	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXX	XX
89	59	65	50	6	6	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XX	XX
25	63	56	46			XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX		
80	74	63	46			XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX		
83	62	59	46			XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX		
63	75	66	45			XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX		
95	50	68	44			XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX		
74	63	49	43			XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX		
28	66	64	42			XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX		
100	48	48	42			XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX		
79	65	52	37			XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX		
112	64	66	31			XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX		
115	47	57	30			XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX		
51	68	72	11			XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXX		
44	57	47				XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX			
87	48	47				XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX			
58	48	44				XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX			
126	78	44				XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX			
46	57	43				XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX			
122	53	42				XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX			
131	48	42				XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX			
84	49	40				XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX			
47	51	39				XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX			
75	50	39				XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX			
129	55	37				XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX			
69	63	34				XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX			
76	57	31				XXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXX			
110	62	19				XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXX			
96	48	11				XXXXXXXXXXXXXX	XXX			
85	82					XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX				

注：数字は%で示してある。

注：グラフの目盛りは一目盛「5」、×は端数を切り上げて示してある。

誤答率を下回ることがなく、第5回目でやっと下回ったものがあるということである。それらの問題はQ31, Q43, Q88, Q107の4題である。しかもQ88に至っては第5回目でもなお49%の誤答率であった。4題のポイントを順番にあげると、

1. 現在完了と共に使えない語
2. 未来進行形で予定をあらわすもの
3. 'set + O + ~ing' の形式
4. 否定語に先行される 'because' の用法

である。この4つの文法事項がこのテストに関する限り、この回生の弱点と考えてもよいのではないかと思う。そして、前後なんの脈絡もなく短文として記憶する場合、1, 2回では頭の中に残らず、最低5回は繰り返して覚えるのはじめて定着するのだと、はっきりいえる。

こうして5回行って2問以外はすべて47.8%以下になったことをみると、このテストの内容も一応定着したといえよう。あとは生徒が、長文の中で、いかにこれらの習得した事項をうまく思い出して、力を出していってくれるかということになる。

(2) 次に各章別にリスト (Table 7) を作成してみると、それぞれの章の中で、最初から誤答率が一番高く、5回目までテストされた問題はQ12, Q27, Q31, Q72, Q99, Q111の6問であった。この6問から考察されるのは、

1. 関係代名詞節の中に挿入句 (S' V') がある場合
2. 意味は違うが規則変化と不規則変化の両方ある動詞に注意
3. 現在完了形と一緒に使えない副詞
4. 完了不定詞、特に単文←→複文の書き替えとその時制
5. 動詞とその目的語とのつながり、特に目的語が動名詞の場合
6. 時制——助動詞を含めて時の一致をうけるか否か

の6つの事柄である。これらは長文中に入ってきて 'context' がはっきりすれば以外にうまくこなされる問題かもしれないが、一つずつ解決していこうとする場合、盲点をつかれててこずる問題である。

(1)で検討された4つの問題 (ただしQ31は重複している) とあわせて合計9題は今回洗い出された注意を要する事項となろう。これらは今後の授業の指導の際に大いに留意し徹底的に理解をはかっていかな

Table 7

**C回生の追跡データ (3)**

(項目別難易度順リスト)

NO.	1-9	2-5	2-7	3-5	3-7
12	74	78	52	44	23
27	67	71	56	58	26
28	66	64	42		
25	63	56	46		
31	62	73	69	63	45
44	57	47			
46	57	43			
47	51	39			
43	47	54	65	57	36
51	68	72	11		
52	59	56	57	21	9
58	48	44			
63	75	66	45		
69	63	34			
72	81	69	63	42	37
80	74	63	46		
79	65	52	37		
74	63	49	43		
76	57	31			
75	50	39			
85	82				
83	62	59	46		
89	59	65	50	6	6
88	52	63	60	63	49
84	49	40			
87	48	47			
99	87	75	50	73	42
98	83	78	70	65	50
95	50	68	44		
96	48	11			
100	48	48	42		
110	62	19			
107	57	63	59	65	47
111	86	78	65	52	42
112	64	66	31		
115	47	57	30		
126	78	44			
130	73	71	63	61	34
129	55	37			
122	53	42			
131	48	42			

注: 数字は%で示してある。

ければならない。

## VI. 終わりに

自学自習を課題にして始めたテストがその後の授業の進度とからんで、どのように生徒たちに理解されるかを同時期におけるA～D回生の比較とC回生の時間的経過の2つの面から検討してみたわけであるが、授業の進度、学習してからの時間的経過と深い関係を持つこと、反復練習することがなんといっても理解を深めるのには一番よい方法であること、それぞれの項から出た9つの重要ポイントをこれからの授業に生かすことなどが結果として得られる。当然のことながら、このテストの範囲とならなかった章の中には、ここに表れたもの以上に大切な事項が含まれているし、これだけに絞った中からの検討では、ほんの一部にしかならないが、それでもこれらは限られた時間内で出来るだけ効率よく生徒に知識を伝える為のよい材料となってくれるだろう。最後にグラフ作成で本校教官、榎田豪利氏のご協力をいただいたことを深く感謝します。

参考文献：高校生の「基礎からの英語」 6訂新版 高梨健吉著 美誠社







- a. is resembling    b. is resembling    c. resebmle    d. resembles
42. When a robber broke into the house, to dog (        ).  
a. is barking    b. barks    c. was barking    d. barked
43. I (        ) her again one of these days.  
a. am seeing    b. was seeing    c. will be seeing
44. How long (        ) English?  
a. have you learned    b. have you been learning  
c. are you learning    d. do you learn
45. The family (        ) for three hours when the fire broke.  
a. was sleeping    b. slept  
c. has been sleeping    d. had been sleeping
46. I (        ) French for five years by next March.  
a. will be studying    b. will study  
c. will have studied    d. will have been studying
47. The child must be sleepy, for he (        ) his eyes.  
a. is rubbing    b. will rub    c. rubs
48. The garden (        ) of roses.  
a. is smelling    b. smell    c. smells
49. What subject (        ) until then?  
a. have you studying    b. had you been studying  
c. were you studying    d. did you study
50. He (        ) here for more than ten years.  
a. lives    b. lived    c. has been living    d. is living
51. A stranger spoke to me yesterday. He (        ) me for my brother.  
a. may mistake    b. might mistake    c. may have mistaken
52. I t is strange that she (        ) have married such a man.  
a. shall    b. must    c. should    d. would
53. He (        ) not finish his breakfast in a hurry.  
a. needs    b. need    c. need to
54. She will (        ) play the piano well next year.  
a. able to    b. can    c. be able to    d. be able
55. He (        ) a hard worker in his school days.  
a. must be    b. must have been    c. has to be    d. has to been
56. We (        ) rely on you in such a case.  
a. cannot but to    b. cannot but    c. cannot help to    d. cannot help
57. Japan is quite different from what she (        ) when I visited ten years ago.  
a. would be    b. could be    c. used to be    d. ought to be
58. She told me that she (        ) prepare for supper.  
a. has to    b. must    c. have to    d. must have to
59. "Must I go at once, father?" "No, you (        ). You may go any time you please".  
a. must not    b. need not    c. cannot    d. may not

60. You ( ) kill useful insects.  
 a. ought not      b. ought to not      c. ought not to      d. not ought to
61. I was satisfied ( ) the result.  
 a. by      b. with      c. at
62. The news of his departure is known ( ) only a few people.  
 a. by      b. for      c. to
63. The book ( ) well.  
 a. is sold      b. is selling      c. sell
64. He was seen ( ) run away by me.  
 a. to      b. なし      c. being
65. I was ( ) by my classmates.  
 a. being laughed      b. laughed      c. laughed at
66. Where did you have your watch ( ) ?  
 a. mend      b. mending      c. mended
67. He had a fall and got his leg ( ) .  
 a. broken      b. to break      c. break
68. A picture ( ) by him now.  
 a. is painted      b. is being painted      c. is painting
69. The car crashed into a telephone pole, and the driver ( ) on the spot.  
 a. dead      b. died      c. was killed
70. He ( ) chairman by all the class.  
 a. will elect      b. will be elected      c. will be elect
71. It is very kind ( ) you to help me.  
 a. for      b. of      c. to
72. He is said to have lived here. = It is said that he ( ) here.  
 a. lives      b. live      c. lived      d. had lived
73. You ( ) lend any money to such a man.  
 a. had not better      b. not had better      c. had better not
74. I had my mother ( ) my jeans.  
 a. to wash      b. washed      c. wash
75. I got him ( ) a kennel.  
 a. to make      b. made      c. make
76. There was no sound ( ) in the house.  
 a. to be heard      b. to be hearing      c. to hear
77. This pond is dangerous ( ) .  
 a. to swim      b. to be swum      c. to swim in
78. Miss Imada is ( ) to marry.  
 a. enough old      b. old enough      c. old
79. He has a sufficient income ( ) .  
 a. to live      b. to live on      c. to live by      d. to live with
80. Soon he felt a snake ( ) over his arm.  
 a. crawl      b. crawled      c. is crawling      d. to crawl

81. Let (        ) dogs lie.  
 a. sleeping                      b. slept                              c. sleep
82. A (        ) man will catch at a straw.  
 a. drowning                      b. drowned                          c. drown
83. It (        ) fine, we all went on a picnic.  
 a. be                                  b. being                              c. was
84. She is sitting there with her hands (        ).  
 a. folding                          b. folded                              c. fold
85. (        ) properly, the dog will be a faithful servant.  
 a. Train                              b. Trained                              c. Training
86. Strictly (        ), the evening star is not a star.  
 a. speaking                          b. speak                              c. spoken
87. (        ) all the way, she got quite tired.  
 a. Walking                          b. Having walked                      c. walk
88. We set our machines (        ).  
 a. gone                                  b. going                              c. go
89. I could not make myself (        ) in English.  
 a. understand                          b. understanding                      c. understood
90. He had his bankbook (        ).  
 a. stolen                                  b. stealing                              c. steal
91. She insisted on (        ) going to college.  
 a. mine                                  b. my                                      c. I
92. It is no use (        ) over spilt milk.  
 a. to cry                                  b. cried                                  c. crying
93. We have run short of sugar. Remember (        ) some on your way home.  
 a. buying                                  b. bought                              c. to buy
94. She promised (        ) with me.  
 a. to go                                  b. going                                  c. gone
95. He nearly escaped (        ) run over by a dump truck.  
 a. to be                                  b. being                                  c. be
96. This novel is worth (        ).  
 a. reading                                  b. to read                              c. to be read
97. I cannot help (        ) of it.  
 a. complain                              b. to complain                          c. complaining
98. The child denies (        ) the window.  
 a. breaking                                  b. to break  
 c. having broken                          d. to have broken
99. This watch wants (        ).  
 a. to repair                          b. repaired                          c. repair                              d. repairing
100. That needs to be explained. = That needs (        ).  
 a. explain                                  b. explaining                          c. explained                          d. to explain
101. Work hard, (        ) you will succeed.

- a. and                      b. or                      c. though                      d. whether
102. Hold up your hands, (            ) you will be a dead man.  
a. and                      b. or                      c. though                      d. unless
103. It is ten years (            ) he left Japan.  
a. from                      b. when                      c. before                      d. since
104. Young (            ) he is, he is honest.  
a. as                      b. though                      c. before                      d. since
105. (            ) it is fine or not, you will have to go there.  
a. When                      b. Because                      c. While                      d. Whether
106. Strike (            ) the iron is hot.  
a. though                      b. because                      c. while                      d. during
107. You must not envy a man (            ) he is rich.  
a. when                      b. because                      c. though                      d. if
108. (            ) a wolf resembles a dog, so does a flatterer a friend.  
a. As                      b. Like                      c. Because                      d. If
109. Not only you but also he (            ) tall.  
a. are                      b. is                      c. am
110. Either you or I (            ) wrong.  
a. are                      b. is                      c. am
111. He took it for granted that man (            ) mortal.  
a. be                      b. was                      c. is
112. She said to me, "Don't scold the boy, please." = She (            ) scold the boy.  
a. asked me not to                      b. said me to not                      c. told me not to
113. I said to him, "What do you mean by that?" = I (            ).  
a. told him what he meant by that                      b. asked him what did he mean by that  
c. said to him what he meant by that                      d. asked him what he meant by that
114. I said to him, "Do it today, or rain will prevent you from doing it tomorrow." = I told him that rain would prevent you from doing it (            ) unless he did that day.  
a. tomorrow                      b. the following day                      c. today                      d. the previous day
115. They said, "Hurrah! We have won the game." = They (            ) that they had won the game.  
a. exclaimed with joy                      b. exclaimed with regret  
c. said with delight                      d. cried with a sigh
116. She asked him if he would buy her a new dress. = She said to him, " (            ) "  
a. Will he buy her a new dress?                      b. Will he buy me a new dress?  
c. Will you buy her a new dress?                      d. Will you buy me a new dress?
117. He said to me, "You look pale. What is the matter with you?" = He told me that I looked pale (            ) what was the matter with me.  
a. and told me                      b. and asked me                      c. asked me                      d. told me
118. He said, "God help me!" = He prayed that (            ).  
a. "God help me!"                      b. God may help me  
c. God helps me                      d. God might help me

